

令和5年度笠間市図書館協議会及び笠間市子ども読書活動推進会議議事録（要旨）

令和5年6月21日（水）午後2時～午後4時

友部図書館2階視聴覚室 於

笠間市図書館協議会議事録

出席委員 11名

欠席委員 1名

傍聴者 0名

執行部 7名

1.開会

2.任命書発令

3.教育長あいさつ

4.委員及び職員自己紹介

5.議題

- (1) 令和4年度笠間市立図書館事業報告及び令和5年度笠間市立図書館事業計画（案）
について

令和4年度笠間市立図書館事業実績（説明）

令和4年度笠間市立図書館事業報告（説明）

令和5年度図書館事業計画（案）（説明）

【質疑応答】

○令和4年度事業実績について

委員長：平成30年度予算では資料費が三千万円あったが、令和になり二千万円になっている。これ以上は下回らないようお願いしたい。

委員：子ども読書の日は4月23日だが、笠間図書館の令和5年度事業の読書フェスティバル春の実施は4月24日でよろしいか。

執行部：令和5年4月23日（日）実施だった。訂正をお願いしたい。

委員長：ブックスタートの配布率は93.8パーセントと高い配布率だが、としょかん1年生になるとパック配布率が42.7パーセントで前年より減少している。やはり、図書館に来てもらうとなると大人に連れてきてもらわなければならないなど、配布の条件が難しいのか。

執行部：市内の小学生の76パーセントがカードを登録している。長い目で見たい。

委員長：システム改修を行ったようだが、どのような状況になったか。

執行部：システムのメーカーも変わったが、笠間、友部は自動貸出機が1台ずつ増えた。

執行部：コロナも5類に移行し、図書館の対応も職員のマスク着用と手指消毒は残しているが、コロナ前の状況にほぼ戻している。

【承認】

2) その他 特になし

笠間市子ども読書活動推進会議議事録

出席委員 11名

傍聴者 0名

執行部 6名

1.開会

2.議題

(1) 笠間市子ども読書活動推進事業について

第三次笠間市子ども読書活動推進計画取組目標（説明）

【承認】

(2) その他

委員長：取組目標6 ボランティアの人数が増えないというところが難しいところではないか。

委員：図書館で登録されている読み聞かせボランティアのほかにも学校や施設などで活動している団体も結構いる。図書館のボランティアとして登録していただくよう推進などはしないのか。どんな団体があるか把握していたほうがやりやすいのではないか。

執行部：ブックスタートは主に個人でのボランティア登録（友部図書館は団体もあり）、読み聞かせボランティアは団体での登録でお願いしている。

笠間市すべての読み聞かせボランティアの把握は現在していない。

委員：ボランティアの募集の広報などをあまり見たことがない。

情報をもっと発信したほうがよいではないか。

委員：もっとボランティアを募集して行ってほしい。すべての活動をするという方だけではなく、それぞれの方がやれる範囲でやってもらえればよいと思う。

執行部：今年の3月に岩間図書館でボランティアの募集を行った。8名の応募があったが、説明会などを行った結果、個人での登録は1名と1団体の登録となった。個人の方は既存の団体への加入をお願いし、新しい団体に関しては土曜日のお話会を増やして活動していただく予定である。

- 委員：今回、進捗状況を聞いて、学校でのお話会などを検討していきたい。
- 委員：電子図書館は、小学1年生はまだアクセスが難しいかもしれないが、学校、家など様々な場所でアクセスができ非常に便利だと考える。少しでも魅力あるコンテンツを増やして欲しい。
- タブレットの導入により、本離れは進んでいっているように思う。
- 今年度は市内中学校でビブリオバトルを開催予定だが、小学校でも本の紹介などを行っているクラスなどもある。
- 委員：タブレットは一方的に流れるものだが、対面の読み聞かせは子どもの反応に合わせて読まれるもの。本は子どもが楽しめ、有意義なものである。
- 委員：コロナ以降、学校からの読み聞かせの依頼がなくなった。
- 委員：どうやって問い合わせをすればいいかわからない。
- 気軽に相談できる環境ができるとよい。
- 執行部：年度初めに登録をしてもらい、年間スケジュールを決めている。
- 委員：子どもが小さいときは図書館をよく使っていたが、子どもが大きくなるにつれ、忙しくなっていき、なかなか利用できないが、本も充実しているので使っていきたいと思う。学童でも本が置いてあり、子どもが読んでいるが、読み聞かせもあるとよい。
- 委員：読み聞かせをするためにどういう風に読もうかななど考えながら、図書館で本を探すのが楽しい。ボランティアを長く続けるのは難しく、高齢化は課題となっている。
- 委員：若い方がボランティアに入ってくない。子どもたちの反応を見るのがボランティアの励みとなっている。図書館で講習会を行って、若い方を募ることも検討してみてはどうか。
- 委員：今年になって館外でもお話会が多くできるようになり、忙しいがうれしい。
- 委員：やはり、ボランティアが高齢化しており厳しい。
- 学校のお話会利用を促進してほしい。地域の民話普及なども行っているので活用してほしい。
- 委員：今後ボランティアの件は大きな課題になるのではないかと。学校独自で読み聞かせ活動を行っているところもあるだろうが、図書館として大々的に募集をしたらどうか。三館の図書館が力を合わせてボランティアを育成していく必要があるのではないかと。
- 委員長：行政に期待することとして、施設、人、資料購入費増額、学校司書の配置などがあげられている。少しでも半歩でも前向きに進めてほしい。

4.閉会